

# ● 常任委員会報告

市の仕事は多岐にわたっており、市議会で取り扱う案件も多く、内容もさまざまな分野に及びます。そのため、議案や請願・陳情などは各常任委員会に付託され、慎重に審査されます。

ここでは、委員長が本会議で報告した委員会での審査の経過と結果の概要をお伝えします。

## 総務文教常任委員会（3月11日開催）

### 付託された議案・請願

- ・「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める請願書  
ほか8件

### 請願の内容

- ・近年、不登校や特別支援学級・学校に在籍する子どもが増加している。その背景には、学習指導要領の改訂による学習内容や教科書の増加が、子どもたちや教職員の大きな負担となっていることが指摘されている
- ・このため、子どもたちの「ゆたかな学び」を保障し、教職員の働き方改革を進めるためにも、次期学習指導要領の内容精選や授業時数削減など「カリキュラム・オーバーロード」の改善を国に求める意見書提出を請願するもの

### 委員会の様子

- ・委員からは、カリキュラム・オーバーロードの問題提起には理解を示しつつも、教科書増加が不登校などの増加に直結するかは疑問であるとの意見があった
- ・請願内容をさらに精査するため継続審査を求める意見が出された

### 審査結果

- ・挙手全員で継続審査とすることに決定



## 市民福祉常任委員会（3月9日開催）

### 付託された議案

- ・みどり市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  
ほか13件

### 議案の内容

- ・子ども・子育て支援法の改正に伴い、令和8年度から創設される子ども・子育て支援金制度に対応するため、本市の国民健康保険税の課税区分に「子ども・子育て支援」に係る項目を追加する条例改正について、議会の議決を求めるもの

### 委員会の様子

- ・委員からは、国民健康保険加入者約9,000人のうち、この条例改正の影響を受ける人数はと質疑があり、執行部からは令和8年度は8,313人を見込んでいるとの答弁があった
- ・物価高騰が続く中、子ども・子育て支援納付金を18歳以上の全員に課すことは医療給付とは異なる目的であり、子育てのための財源は国が責任を持って確保すべきであるとの理由から、本条例に反対する討論があった

### 審査結果

- ・採決の結果、挙手多数で可決すべきものと決定



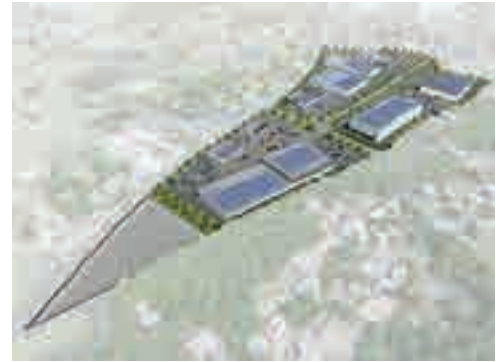
## 経済建設常任委員会（3月10日開催）

### 付託された議案

- ・みどり市地区計画等の案の作成手続きに関する条例について  
ほか3件

### 議案の内容

- ・みどり市が進める西鹿田産業団地の整備に関連し、都市計画法に基づいて地区計画を策定する
- ・この地区計画では、産業団地周辺への影響に配慮し、施設の配置や建物の用途を産業目的に限定することで、周辺環境と調和した持続的な産業団地の形成を目指す
- ・地区計画案については、区域内の土地所有者や利害関係者から意見を募集する必要があるため、案の提示方法や意見提出の手続きについて定める条例の制定について、議会の議決を求めるもの



### 委員会の様子

- ・委員からは、関心のある企業者が案を閲覧しやすいよう、縦覧方法の工夫を求める意見があった

### 審査結果

- ・討論はなく、採決の結果、挙手全員で可決すべきものと決定

## 予算常任委員会（3月12日開催）

### 付託された議案

- ・令和7年度みどり市後期高齢者医療特別会計補正予算  
（第4号）ほか31件

### 議案の内容

- ・一般会計からの保険基盤安定繰入金の確定による歳入補正や、保険料収入の増加に伴う後期高齢者医療広域連合納付金の増額に対応するため、歳入歳出それぞれ4,252万2,000円を追加する増額補正を行うため、議会の議決を求めるもの



### 委員会の様子

- ・委員からは、後期高齢者医療の特別徴収保険料・普通徴収保険料が既定額から増額している理由は何かとの質疑があり、執行部からは当初予算で見込んでいたよりも被保険者の所得が伸びたため、実際の保険料収入が増加し、予算額を増額補正したとの答弁があった

### 審査結果

- ・討論はなく、採決の結果、挙手全員で可決すべきものと決定

## 議会議案 みどり市ハラスメント防止条例を全会一致で可決！

定例会最終日に、市長や市議、職員などを対象としたハラスメント防止条例を全会一致で可決しました。議員だけを対象にした条例ではなく、特別職や職員も対象とした条例は、県内12市でみどり市が初めてです。

条例は3月23日から施行され、良好な職場環境や議会活動が行える環境づくりを目指します。